

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリコ双葉教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育に専門的支援を取り入れている	・個々の特性に合わせ計画を立て、 児童が楽しんで取り組めるよう工夫している	・児童自身が自信を持って取り組めるよう プログラムをさらに工夫していきます
2	・家庭的で居心地がよく安心して楽しめる場である	・児童の意見を尊重し楽しみながら療育を受けられる よう取り組んでいる	・児童や保護者の意見を取り入れ療育が行えるよう 職員のスキルアップの為に研修や会議を行う
3	・運動プログラムやイベント・毎日のスケジュールを 計画的に行っている為、習慣化されている	・スモールステップからはじめている ・具体的な目標と必要な行動がわかりやすく提示 ・評価表や写真など記録して 自分のがんばりが見える化している ・仲間と共有、共感できる体験を取り入れている	・継続力や失敗しても良いと考えられる力を伸ばし 失敗を糧に挑戦を続ける力を育てていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個室がない(活動室・相談室兼学習室・職員室と 上部があいたパーティションで仕切られている)	・個室がなく、パーティションでの仕切りとなる為 クールダウンや静かに過ごしたい時に周囲の音が 気になる事が多い	・イヤマフは送迎車用と教室用に用意してあります ・職員と一緒に廊下に出るや外の散歩でクールダウン 等の落ち着く方法を提案している ・防音のパーティションの設置やカーテンをつけるなど 音漏れを軽減させる必要がある
2	・運動療育や集団活動時のスペースが狭い	・個人活動には十分なスペースではあるが、集団活動 を行う際は、安全面を考慮し活動する必要がある	・活動室を十分な広さに使う為、可動式机の収納を設置 ・2グループに分けて順番に活動(待機児童の配慮) ・テーブル配置の工夫
3	・職員によって認識の偏りがある	・新規の職員や経験の浅い職員に対し指導が十分ではない ・スキル不足 ・自ら学ぶ意識	・専門的支援や療育の為に職員指導 ・共有・報告・連絡・相談の徹底し、職員によって ムラのない支援を行えるよう努めます

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アプリコ双葉教室

公表日 2025年3月13日

利用児

童数 38名

回収数 22枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2			・もう少し広かったら・・・と思います	・活動内容によって必要じゃない物を片付け安全にスペースを確保しています ・着替えスペースがない為、パテーションがある所を簡易的に用意又はトイレに着替え用マットを常備
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	1	1	・子ども何人に対して職員の前さんは何人で取り組まれているのか？	・管理者 兼 児童発達支援管理責任者 1名 ・保育士又は児童指導員 5名 ・作業療法士1名 ・指導員 1名 (児童2名に対し職員1名で配置しています)
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1			・バリアフリーではない。3階まで階段なので。	・わかりやすい掲示を心掛けています ・バリアフリーではないです ・3階まで階段ですが、手すりがあり滑り止め等で工夫しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1			・よく清掃はして様子ですが、床材がカーペットなので手入れ等、清潔を維持させるのが大変そうだった ・扇風機の埃が気になった。 ・視覚的に区切ったり、工夫されている良いと思う。	・毎日の清掃で拭き掃除+アルコール除菌、床は掃除機清掃、冷暖房機器のフィルター交換、清掃行っていました。汚れや埃が残っていました ・定期的にオゾン除菌と高温スチームかけ ・床材をクッションフロアに交換準備中です
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	3		1	・こどもが不機嫌で帰宅する時は大体同じ先生が送迎している事が多く、何か関わり方に合わない所があるのだなと思っています ・先生によって認識の偏りを感じる	・全職員がこどもの特性を理解し専門性のある支援を行う為に共有と職員教育を行っています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					・運動療育・専門的支援・集団と個別療育 ・相談支援、助言・健康状態の確認・送迎サービス ・関係機関との連携
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					・見学、体験、アセスメントを行い子供と保護者のニーズをや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1				・R6年4月より「本人・家族・移行支援」で示す項目が導入。共に心身の健康などに関する領域(5領域)と関連性を踏まえた支援の具体的な内容を設定しています
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					・個別支援計画に沿って支援を行っていますが変化や問題がある場合は見直しを行います
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					・療育の効果、楽しさ、社会性、危険性を考慮し工夫しています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		7	5		7	・特に地域の他の子供との交流を希望しない ・他のアプリコの教室との交流があった様です。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					・契約書と重要事項説明書を基に説明しています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1			・書面にてもらいました。	・ミーティング後に個別支援計画案を作成し教室内会議を行い、説明を行っています。面談できない場合はお渡しして確認していただいています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	5	4		・要望の多さや必要に応じて検討します
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	21	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2			1	・子育てに関する助言があると良い

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	5	5	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流や兄弟向けのイベント等は特に求めている 兄弟も参加できるイベントが増えると思う 	・年に2度程度、開催できるよう準備しています
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		2		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて迅速かつ適切に対応するように努めています 相談や苦情の窓口は契約書に記載し周知
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				<ul style="list-style-type: none"> 記録を残し口頭、直接情報伝達のための配慮をしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2				<ul style="list-style-type: none"> 写真やメールでお伝えしています ホームページに掲載もしています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					<ul style="list-style-type: none"> 内容に応じてインシヤルを用いています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		2		<ul style="list-style-type: none"> マニュアルは策定・掲示しているが、全てのマニュアルの周知・説明ができていない為ホームページのなどに掲載し周知、説明していく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			3		<ul style="list-style-type: none"> 職員のみ訓練と児童を含めて避難訓練は年に2回行っています。避難場所は配布
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			1		<ul style="list-style-type: none"> 安全の確保を十分に行った上で支援を行っています。計画書の周知、説明が十分ではなかった為、行っていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		2		<ul style="list-style-type: none"> 事故やケガ、トラブルが発生した際には、保護者の方に連絡と状況説明に努めています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1			<ul style="list-style-type: none"> 何度か被害にあってるので安心という訳ではないそうです 	<ul style="list-style-type: none"> 痙攣を起こした児童とその周りの児童の配慮が不十分でした。安心して通所できるよう環境を整備、対策に努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			<ul style="list-style-type: none"> 利用回数は少ないですが通所を楽しみにしている 毎回楽しみにしているようで親としては満足している 	<ul style="list-style-type: none"> 運動プログラムやイベントなど活動に楽しんで取り組めるよう工夫しています 疲れや体調を確認してここに合わせた支援を行っています
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				<ul style="list-style-type: none"> 大変満足しています 	<ul style="list-style-type: none"> 運動プログラムと教室のスケジュールが習慣化して、生活の困りごとを自己解決できるよう支援してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	アプリコ双葉教室					公表日	2025年 3月 13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		・クールダウンできる場所があると良い ・不適切だと感じるが仕方ないと思う ・痲癩を起こした場合は廊下に出るなど対応しているが心配な場面があるが場所がない			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2		・活動内容によるが調理や工作で個別に補助が必要な児童や落ち着かない状態・低学年が多い時は不足と感じる			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		会社内での研修は定期的に行われているが個別で希望する外部の研修への対応は浅い			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			更新が定期的に行われていない時もあったが現在は改善されている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7						

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		チームで定期的に会議を行い、繰り返し行っているが「私」も飽きてないか、楽しめているか見直し工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		必要に応じ情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	相談支援の方や保護者の方より情報をいただいている	就学前に利用していた園などから直接の情報共有ではない為、必要に応じ直接共有する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	相談支援の方との情報共有はできている	直接の情報共有ではない為、必要に応じ直接共有する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・地域の公園での活動が長期がゴールで多くある為、関われる機会を増やしていく	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		・今までグループ全体では参加していて、今年度3月に1度参加。来年度からは年に3回予定されている為積極的に参加予定
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		必要に応じ対応できるよう努めます	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1		・今年度より少しずつ開催し、必要な方に機会を設けられるよう支援していきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		全てのマニュアルは職員が把握して、いつでも閲覧できるようにしています	保護者の方に全てのマニュアルが閲覧できるようになっていない為、今後はHPに掲載
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		・職員のみ訓練と児童を含めて避難訓練は年に2回行っています。避難場所は配布
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		・アセスメントにて確認 ・受診後の服薬の変化や状況は保護者より随時確認して記録しています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				